

報 光 会 稲

第 32 卷 41 号

平成 21 年 2 月 1 日 発行
編 集 早稲田大学稲光会
発 行 者 植 竹 清 宏
題 字 滝 口 宏

報 告

佐藤武元監督逝く



佐藤武元監督

長年、闘病生活を続けておられた佐藤武元監督が2月1日、入院先の神奈川県相模台病院で亡くなりました。享年79歳。
佐藤氏は昭和42年から47年まで5年間にわたって監督を務められました。その間、早稲田の若松町に寮を開設。

自ら部員と共に寝泊りし、文字通り寝食を共にする熱血監督ぶりを発揮。こうした努力が実って45年春、立大との入替戦に勝って一部復帰を果たしたのでした。
その後、前監督として稲光会活動を通じて部員たちにカツを入れ続けるなど存在感の強いお方でしたが、晩年は病に倒れ長い入院生活を送られていました。合掌！

川名宏美監督の慰労会開催

8月7日、川名監督の慰労会が開催されました。稲光会の会合の場所といえばいつもK庵やG焼き鳥屋で行ってきましたが、今回は田中一会員(S54年卒)の紹介で、一流の芝ブリスホテルで、しかもカラオケルームでの開催。金子誠相談役(S25年卒)をはじめ、なんと総会出席者数よりも多い23名の出席となりました。
川名監督に何かあったのかと心配して名古屋から駆けつけた石黒幸

夏季合宿激励訪問

9月2日から9日まで夏季合宿が新潟県湯沢町にて行われました。4日に北原輝久会長(S36年卒)、慶田浩一副会長(S38年卒)、三浦義雄幹事(S39年卒)、植竹清幹事長(S39年卒)の4名が激励に足を運びました。このメンバーが合宿で一緒に寝泊りするのには48年前、昭和35年長野県別所温泉の時からのこと。当時、昼は団体レッスンでしごかれ、夜は布団蒸しの恐怖があり、大変な思いをしたという記憶が蘇りました。
合宿では現役部員同士が上手にレッスンを取り合っていたのには感心させられた。夕食兼ミニ打ち上げ会に参加したが、現役部員は慶應の学生とも仲がよく、大変和やかな雰囲気の中で合宿を行っていた。(幹事長 植竹清)

私の趣味

酒井 禧安会員 (昭和35年卒)



稽古道合居 酒井会員 励む

現役時代は「坊や」と呼ばれた童顔の酒井会員も70歳、古希を迎えた。趣味は古武道で、キヤリアは20年を超える。特に力を入れている居合道は5段の腕前だ。昨年3月26日、東京ドームでメジャーリーグのレッドソックス対アスレチックスの開幕戦が行われたが、そのオープニングセレモニーで10分間の居合演武を披露したのが何よりの自慢。この時は居合の型と巻藁(わら)の試し斬りを見事に決め、5万の

古希を過ぎても、まだまだ現役！

観衆からヤンヤの喝采を浴びたという(本人の談)。
他に表千家の茶道、エアロビクスをそれぞれ10年以上続けている。武道と茶道はこれからも続けていくつもりというが「フエシ」の強さが大いに役立っている」とのこと。剣を手に、とつとつと語る酒井会員の表情に「坊や」の面影はなく、古武士の風格が溢れていた。

総長からの感謝状

稲光会に対し早稲田大学白井克彦総長の名による感謝状(写真)が贈られました。これは創立125周年記念事業募金活動への協力に対するものです。

感謝状
稲光会 殿

本大学に多額の寄付を賜り誠に有難く感謝にたえません。これは創立125周年記念事業募金として有意義に活用し、ご厚志に副いたいと存じます。ここに謹んで謝意を表します。

早稲田大学総長 白井克彦



二〇一〇年一月二八日

OBの近況報告欄

戸越で中華料理店 店主！



すっかり板についた店主姿

白井 誠会員 (昭和59年卒)

庶民的な町として知られる東京・品川の戸越銀座。商店街の半ほどにある中華料理店「百番」が白井会員の店である。70人は収容できる本格的な飯店だ。卒業後、大手広告代理店に勤めて20年。この不況で転職を考えていたところ、父君に相談され「じゃあボクがやろう」と即決。百八十度「花嫁募集中です」と、最後はテレビ変転して中華屋の親父になった。笑いだ。

大学の記念事業には全面的に協力しよう！との竹村晃会長(当時)の発案で募金実行委員会(竹村委員長)が設立されたのが平成18年。16人の委員が各世代毎に募金の呼び掛けを行った結果、59名の会員が快く応じてくれ、目標額125万円が集まったのです。その年、当部も創部60周年でしたが、その記念事業を返上しての募金活動でした。大学側がこうした形でその努力に報いてくれたのは大変嬉しいことです。実物の感謝状は道場に新設されたトロフィー展示ケースに収納してありますので、お出での節にご一覧下さい。

竹村晃前会長の話



125周年の募金活動は私が会長に就任して最初の大仕事でした。会員諸氏の協力のお陰で目標が達成でき、総長の感謝状は万感の思いで受け取りました。

白井克彦総長

「早稲田大学」1882年(明治15年)、早期議会開設論に端を発した政変により官を追われた大隈重信は、自由の精神を養う私学の創設を計画。盟友小野梓らと共に別邸のあった南豊島郡下戸塚村早稲田に「東京専門学校」を開校した。これが後に早稲田大学と名を変える。
1962年(昭和37年)の創立80周年記念事業で第二学生会館を建設。1982年(昭和57年)の100周年記念では人間科学部を創設した。125周年記念では正門前に16階建ての大隈記念タワーを建設している。この15階にあるレストラン「西北の風」は眺望絶佳。しかも安くてうまいと評判の名店である。

男子エへ、インカレ二連覇！

2008年全日本学生フェンシング選手権大会(11月・京都)でわが部の男子エへが団体優勝を遂げました。これは昨年(2007年)に続く快挙で、インカレ二連覇はわが部初の偉業。(関連記事2面)

現役
試合結果

男子エへ。栄えあるインカレ一連覇！

2008年後期、男子エへ陣はインカレ一連覇の快挙を達しました。また寺本朋代(教育2年)のインカレ優勝(女子フルーレ)およびジュニアオリンピック優勝(女子フルーレ)、多田真望(スポーツ1年)の新人戦優勝(女子サーブル)など随所で好成績を収め、2009年シーズンへの弾みをつけました。



やったぜ!!! 大学日本一を決めたメンバー(左から橋脇、池内、川名監督、前田、佐藤)

エへ陣のメンバーは池内と静まり返る緊迫した雰囲気の中で、池内が劇的な決勝ポイントを取った。寺本はJOCカップ女子フルーレ決勝で、苦手とする西岡詩穂(日女大)に対し、距離を巧みにとって相手のリーチを殺す作戦に徹した。これが功を奏し、接戦ながら最後は鋭いアタックを決めて難敵を降した。サーブルを得意とする多田は新人戦優勝の勢いを関東学生選手権に持ち込み、幾多の上級生を破つてベスト8に進出する活躍。来るリーグ戦に明るい材料となった。(監督 川名宏美)



インカレ、JOCカップ2冠の寺本

●関東学生新人戦 (9月23日~24日、駒沢屋内球技場)

- <団体戦>
女子フルーレ2位
- <個人戦>
男子フルーレ4位 萩原宏樹 (スポ①)
女子フルーレ4位 多田真望 (スポ①)
8位 鈴木彩夏 (スポ①)
女子サーブル優勝 多田真望 (スポ①)
7位 鈴木彩夏 (スポ①)

●関東学生選手権大会 (9月29日~10月3日、駒沢屋内球技場)

- <団体戦>
男子フルーレ3位 男子エペ4位
女子フルーレ4位 女子エペ3位
- <個人戦>
男子フルーレ4位 北川宗一郎 (スポ②)
男子エペ3位 佐藤夏樹 (教育②)
7位 橋脇和史 (スポ③)
女子フルーレ2位 戸田志帆 (スポ④)
女子エペ4位 坂野友里 (スポ③)
女子サーブル7位 多田真望 (スポ①)

●全日本学生選手権大会 (11月12日~16日、京都・大山崎町体育館)

- <団体戦>
男子フルーレ3位、男子エペ優勝、男子サーブル8位
女子フルーレ2位、女子エペ3位

<個人戦>

- 男子フルーレ3位 北川宗一郎 (スポ②)
- 男子エペ4位 前田雄亮 (政経④)
- 6位 佐藤夏樹 (教育②)
- 男子サーブル7位 山口友生 (教育②)
- 女子フルーレ優勝 寺本朋代 (教育②)
- 4位 戸田志帆 (スポ④)

●第61回早慶定期戦 (11月30日、早大体育館)

- 男子フルーレ 早稲田 V45-D24 慶應
- エペ 早稲田 V45-D28 慶應
- サーブル 早稲田 D40-V45 慶應
- ※総合優勝: 早稲田 (14連勝、通算43勝18敗)
- 女子フルーレ 早稲田 V45-D34 慶應
- エペ 早稲田 D27-V45 慶應
- ※総合優勝: 慶應

●全日本選手権大会 (12月11日~14日、新潟県・聖籠町総合体育館)

- <団体戦>
男子フルーレ4位
- <個人戦>
男子フルーレ5位 北川宗一郎 (スポ②)

●JOCジュニアオリンピックカップ (1月9日~12日、駒沢屋内球技場)

- 女子フルーレ優勝 寺本朋代 (教育②)

合宿へようこそ!

2009年度の現役春季合宿は、例年と同じ山中湖畔ニュー福寿草です。恒例行事として稲光会から20万円の現役補助金が贈られます。

1. 期日
09年3月16日(月)~23日(月)
2. 場所
ニュー福寿荘
〒401-0502
山梨県山中湖平野140
TEL:055-65-8301
3. 練習日程
出発日 3月16日(月)※9時出発
前半練習日 3月16日(月)~18日(水)
中 日 3月19日(木)
後半練習日 3月20日(祝)~22日(日)
帰 京 3月23日(月)
4. 担当
澤田 昂太郎 (理工3)
5. 連絡先
03-3203-8605(部室)

試合の応援に行こう!

- 2009年度リーグ戦
4月23日(木)、24日(金)
4月27日(月)~30日(木)
※会場は全て駒沢屋内球技場です

日本代表選手が4人誕生しました!

WASEDA CLUB こんにちは! ワセダクラブです



全国少年団体選手権サーブル優勝のメンバーとスタッフ

発足5年目に入ったワセダクラブは益々大活躍。全国大会優勝をはじめ、中学生の松山大助君はJOCカップ・カデ大会でフルーレ、サーブルの2種目に4位。アジア選手権日本代表の座をつかみました。

- ◆第21回全国少年大会 (7月、京都)
中学生男子の部 3位 松山大助
小学生男子の部 優勝 松山恭助
- ◆第18回東北少年大会 (9月、高崎市)
中学生男子の部 2位 松山大助
小学生男子の部 優勝 松山恭助
- ◆第3回みのわもみじカップ
3回みのわもみじカップ 優勝 松山恭助
- ◆ミニム男子の部 優勝 松山恭助
- ◆第9回全国少年団体選手権大会 (11月、大宮市)
小学生男子フルーレ 優勝 ワセダクラブ
小学生男子サーブル 優勝 ワセダクラブ
- ◆第12回全国カデ選手権大会 (11月、水戸市)
男子の部 2位 松山恭助
- ◆第32回八王子大会 (12月、八王子市)
子供の部 優勝 今井良美
3位 村松花
- ◆第25回船橋市市民大会 (12月、船橋市)
小学生女子の部 3位 浅野早紀
- ◆第16回JOC杯ジュニアオリンピック大会 (1月、駒沢)
カデ男子フルーレ 4位 松山大助
カデ男子サーブル 4位 松山大助

2008年度稲光会の日開催

恒例の「稲光会の日」が10月5日、早大道場にて行われました。会員31名を含めて計66名の参加でした。

また毎年お土産の「佃煮」を作っていたら、誠に有難うございました。

高校の指導者として(骨子)

今年も数年前ぶりにOB戦が復活。橋本純樹(S41年卒)、成田竜士(S42年卒)、片島章徳(H9年卒)、高原庸介(H12年卒)、渡辺崇宏(H17年卒)の各会員が剣を交え、予想以上に軽やかなフットワークにビックリ!

沼田高校は群馬県で有数の進学校、メインが国公立で合格率96%、「文武両道」がモットー。高校から剣を握った生徒が3年間では豊富な経験が必要なフルーレでは勝てない。従ってサーブル、エペを徹底的に教え込む。これまでに国体準優勝、ジュニアオリンピックに12名が出場。全国優勝はあと一歩。えうご期待を!

昨年出野晴信(H4年卒)会員の講演「五輪への道」が大変好評でしたが、今年も各地で教師として活躍している会員を代表して群馬県立沼田高校から優秀な選手を我が部に送り続けている森隆(S55年卒)会員(写真下)が講演されました。タイトルは「高校の指導者として」。(骨子は下記)

現役部員に望むこととして「食欲に上を目指せ」「失敗を恐れない」「就職をしない」とフエンシングを続けるならば教員になれ(群馬に是非来てほしい)!

高校の先生らしく身振り手振りを交え、熱い口調での語り。偏差値の話も出て、大学進学の子を持つ親にも聞かせたい講演の内容でした。

北原会長(写真上)の楽しい司会のオーケションは今年も目標を上回る18万円の売り上げ。出品された会員、お買い上げいただいた会員誠に有難うございました。

